

令和2年(コ)35号 伊方原発3号機運転差止仮処分命令申立事件

債権者 山口裕子外

債務者 四国電力株式会社

準備書面1

2020年7月8日

広島地方裁判所民事第4部 御中

債権者ら代理人弁護士	胡	田	敢
同弁護士	河	合	弘之代
同弁護士	前	川	哲明代
同弁護士	井	戸	謙一
同弁護士	松	岡	幸輝代
同弁護士	大	河	陽子代
同弁護士	北	村	賢二郎代

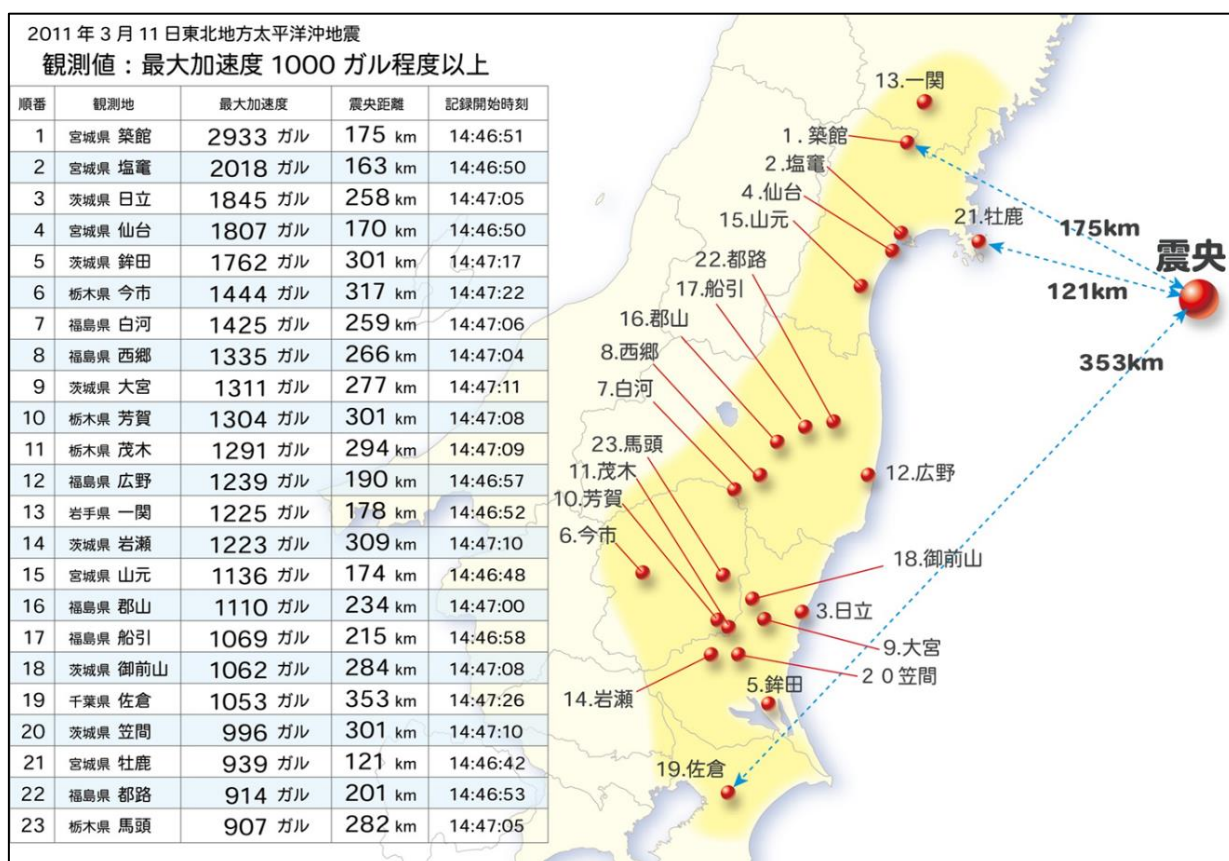
本書面では、地震動（揺れ）は点ではなく面で発生していること及び本件原発にとっては小地震以外のあらゆる規模の地震が危険であることについて、申立書を補充して述べる。

第1 地震動は点ではなく面で発生していること

地震動は、ある一つの地点で発生するのではなく、面的な広がりを持って発生している。

これは、1000ガル程度以上の揺れであっても同様に、1つの地震が発生すると1000ガル程度の揺れが広範囲に面的に発生している。

例えば、2011年3月11日午後2時46分ごろ発生したMw9.0の東北地方太平洋沖地震において、1000ガル程度以上の揺れが観測された地点は、下図¹のとおりである。



(図：強震観測網 (K-NE T、K i K-net) の「地震選択&ダウンロード」から抜粋してまとめたもの)

上図のとおり、最大地震動は宮城県の^{つきだて}築館で観測された約2933ガ

¹ 「震央」とは、震源（地震の開始地点）の真上にあたる地表の点をいう。

ルであるところ、1000ガル程度以上の揺れを観測した地点は、千葉県（佐倉）まで広がっている。

1000ガル程度以上の揺れを観測した地点のうち、最北の観測地点は、岩手県のいちのせき一関である。一関から、1000ガル程度以上の揺れを観測した最南の地点である千葉県の佐倉までは、直線で約370km離れている。

つまり、観測されただけでも、東北地方から関東地方の幅広い地帯が1000ガル程度以上の揺れに襲われている。

第2 本件原発にとっては小地震以外のあらゆる規模の地震が危険

上記「第1」の図のとおり、マグニチュード8乃至9の巨大地震が、本件原発を直撃した場合はもちろんのこと、近傍で発生しても、さらには数百km離れた遠方で発生したとしても、本件原発の基準地震動を容易に超えてしまうことが分かる。今、日本全体がその発生を警戒している南海トラフ巨大地震はまさにこのような地震なのである。

また、マグニチュード7以上8未満の大地震においても、震源から相当広範囲にわたって、本件原発の基準地震動650ガルを超える地震動をもたらさう。例えば、2003年5月26日に発生したMw7.0の宮城県沖地震（最大地震動1571ガル）では、下図のとおり、震央から116km離れた地点（玉山）で約853ガル、震央から77km離れた地点（山田）で約856ガル、震央から54km離れた地点（釜石）で約1055ガルが観測されている。

強震記録一覧								
データ 種別	観測点 コード	記録開始時刻	観測点 北緯	観測点 東経	最大加速度▼ gal	計測 震度	震央 距離	観測 点名
-KiK-	IWTH04	2003/05/26-18:24:47	39.18N	141.39E	1304.6gal	5.8	0048km	住田
-KiK-	IWTH27	2003/05/26-18:24:45	39.03N	141.53E	1098.2gal	5.4	0028km	陸前高田
K-NET	IWT007	2003/05/26-18:24:47	39.27N	141.86E	1055.9gal	5.4	0054km	釜石
K-NET	MYG002	2003/05/26-18:24:45	38.73N	141.51E	0948.7gal	5.4	0017km	歌津
-KiK-	MYGH03	2003/05/26-18:24:45	38.92N	141.64E	0871.7gal	5.0	0013km	唐桑
-KiK-	IWTH21	2003/05/26-18:24:50	39.47N	141.93E	0856.2gal	5.4	0077km	山田
-KiK-	IWTH02	2003/05/26-18:24:54	39.83N	141.38E	0853.6gal	5.5	0116km	玉山
-KiK-	MYGH04	2003/05/26-18:24:45	38.79N	141.33E	0690.6gal	5.3	0031km	東和
-KiK-	IWTH26	2003/05/26-18:24:48	38.97N	141.00E	0642.4gal	5.2	0061km	一関東
-KiK-	MYGH05	2003/05/26-18:24:50	38.58N	140.78E	0631.8gal	5.5	0082km	小野田
-KiK-	IWTH05	2003/05/26-18:24:45	38.87N	141.35E	0604.7gal	5.2	0029km	藤沢
-KiK-	IWTH18	2003/05/26-18:24:49	39.46N	141.68E	0601.0gal	5.0	0073km	川井南

(甲49・強震観測網(K-NET、KiK-net)で2003年5月26日宮城県沖地震の600ガル以上の揺れを検索した結果)

さらに、マグニチュード5以上7未満の地震(「中地震」ともいう。)で1000ガル程度の最大地震動を観測した主な地震は、2000年以降だけでも11回発生しているとおり(下図)、我が国では頻繁に発生する。この程度の地震でさえ、本件原発を直撃すれば基準地震動を超えてしまう。

図 M7 未満、最大地震動 1000 ガル程度以上の 主な地震（2000 年以降）



(図：2000年以降に日本で観測された主な地震のうち、マグニチュード7未満で最大地震動が1000ガル程度以上の地震をまとめたもの)

つまり、基準地震動がたかだか650ガルに過ぎない本件原発については、巷間言われる「巨大地震が原発を襲うと危険だ」というレベルの話ではなく、小地震を除くあらゆる規模の地震が危険なのである。

以上